

第 1 事業報告

令和 7 年度も、公益目的事業である農林水産祭事業（農林水産業及び農山漁村の振興発展のための表彰、普及及び消費者啓発事業）を行った。

I 農林水産祭事業

1 顕彰普及事業

(1) 優秀農林水産業者の選賞審査

令和 7 年度(第 6 4 回)農林水産祭参加表彰行事(276 行事)において、農林水産大臣賞を受賞した 7 部門（農産・蚕糸、園芸、畜産、林産、水産、多角化経営及びむらづくり）の優秀な農林水産業者 453 点について、農林水産祭中央審査委員会(以下「中央審査委員会」という。)(会長：伊藤房雄（東北大学大学院農学研究科教授）)において書類審査及び現地調査が行われ、7 部門 21 点の優れた技術・経営等に天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞と併せて、女性の活躍として内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の受賞者(以下「三賞受賞者」という。)を選定した。表彰事業開始以来の農林水産大臣賞総点数は、34,950 点となった。

なお、選賞審査に当たり、中央審査委員会総会、主査等会議及び 7 分科会を次のとおり開催した。

(参考 1) 分科会名、主査氏名及び所属・職名

分 科 会 名	主 査 氏 名	所 属 ・ 職 名
経 営 (多角化経営兼任)	宮 武 恭 一	(国研)農研機構 本部農業経営戦略部長
農 産 ・ 蚕 糸	中 谷 誠	(国研)農研機構 副理事長
園 芸	樫 村 芳 記	(国研)農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター研究開発監
畜 産	栗 原 光 規	(国研)農研機構 本部みどり戦略・スマート農業推進室顧問
林 産	田 中 浩	(公財)国際緑化推進センター技術顧問
水 産	神 山 孝 史	(国研)水産研究・教育機構 研究戦略部 参与
む ら づ く り	市 田 知 子	明治大学農学部 専任教授

注) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構は(国研)農研機構と表示

(※所属・職名は、令和 7 年 7 月 1 日現在)

① 第 1 回総会、主査等会議

- 期 日 令和 7 年 7 月 1 日（火）
場 所 農林水産省三番町共用会議所
議 題 ア 委員、専門委員の委嘱について
イ 分科会の編成及び主査の指名について
ウ 審査日程等について

※ 主査等会議は、総会終了後開催し、①分科会主査の役割等、②分科会の運営及び審査上の留意点を協議。

② 第2回総会、主査等会議

期 日 令和7年10月1日（水）

場 所 農林水産省第2特別会議室

議 題 天皇杯等選賞審査部門別報告及び選賞決定について

※ 主査等会議は、総会終了後開催し、①審査に当たって問題となった事項、②その他について報告・協議。

③ 分科会（分科会毎に各2回開催）

期 日 令和7年7月～9月

場 所 農林水産省内会議室及びWeb形式

議 題 各部門の天皇杯等三賞候補の選定等について

（参考2）各分科会開催状況及び現地調査地

分 科 会 名	分科会開催月日	現 地 調 査 地
営 （多角化経営） （女性の活躍）	第1回 7月 8日 第2回 9月 9日	北海道、愛知、佐賀 女性の活躍：青森、福岡
農 産 ・ 蚕 糸	第1回 7月10日 第2回 9月 1日	山形、佐賀、宮崎
園 芸	第1回 7月22日 第2回 8月28日	群馬、山梨、石川
畜 産	第1回 7月 9日 第2回 8月29日	北海道、高知、大分
林 産	第1回 7月29日 第2回 8月28日	岩手、茨城、新潟
水 産	第1回 7月11日 第2回 8月28日	千葉、山口、大分
む ら づ く り	第1回 7月14日 第2回 9月10日	宮城、福井、鹿児島

※畜産分科会現地調査は、現地とWeb形式を併用

（参考3）令和7年度 三賞受賞者一覧

区 分	部 門 別	受 賞 者 名
天 皇 杯	農産・蚕糸	(株)おしの農場 代表 押野 和幸
	園 芸	佐藤 勲
	畜 産	(株)ヤマニファーム 代表 井上 孝秀
	林 産	大白川生産森林組合 代表 浅井 守雄
	水 産	浪井丸天水産 代表 浪井 大喜

	多角化経営	(株) 芦別 R I C E 代表 沼田 哲男
	むらづくり	入谷の里山活性化協議会 代表 阿部 國博
内閣総理大臣賞	農産・蚕糸	(株) 宮崎茶房 代表 宮崎 亮
	園 芸	(有) M. A. C Orchard 代表 飯野 公一
	畜 産	(有) 荻町高原総合農場 代表 工藤 厚憲
	林 産	吉田 正平
	水 産	鴨川市漁業協同組合太海エビ網組合 代表 江澤 誠
	多角化経営	(有) 千姓 代表 都築 興治
	むらづくり	農事組合法人農村資源開発共同体 代表 山崎 広美
	女性の活躍	徳永 順子
日本農林漁業振興会会長賞	農産・蚕糸	東与賀農事組合法人 代表 徳久 繁樹
	園 芸	JA金沢市砂丘地集出荷場西瓜部会 代表 太平 武士
	畜 産	(有) 富田ファーム 代表 富田 泰雄
	林 産	常陸太田市森林組合 代表 白石 甲子郎
	水 産	(株) 山賀 代表 山賀 竜郎
	多角化経営	(有) ナカシマファーム 代表 中島 大貴
	むらづくり	竹子地区コミュニティ協議会 代表 岩切 正信
	女性の活躍	農業生産法人(株)よしだや 代表 吉田 清華

(注) 受賞者名欄の*印は、夫婦連名による受賞を示す。

(2) 農林水産祭式典等

① 式典

令和7年度(第64回)農林水産祭式典を11月23日(日)に明治神宮会館において開催した。

式典は、三賞受賞者、農林水産大臣賞受賞者、農林水産省幹部、中央・地方

の農林水産関係者等約 650 名が参列した。

鈴木憲和 農林水産大臣の主催者挨拶の後、生産者を代表し園芸部門天皇杯受賞者 佐藤 勲氏が、消費者を代表して、明治神宮総代 清野 智氏が、それぞれ収穫感謝の言葉を述べた。

次に、伊藤房雄 農林水産祭中央審査委員会会長による天皇杯等三賞の選賞審査報告の後、天皇杯は 鈴木憲和 農林水産大臣から表彰状が、林 良博 日本農林漁業振興会会長から天皇杯が授与された。内閣総理大臣賞は鈴木憲和農林水産大臣から、日本農林漁業振興会会長賞は林 良博 会長から、それぞれ授与された。

引き続き、内閣総理大臣からのメッセージを紹介、続いて、額賀福志郎 衆議院議長及び関口昌一 参議院議長からの祝電を披露した。

また、式典会場 1 階ロビーにおいて、三賞受賞者を写真パネルで紹介するとともに、農林水産大臣賞の都道府県別受賞者名をパネルで展示し紹介した。

② 大臣懇談会

前年と同様に参加者を三賞受賞者、農林水産大臣ほか農林水産省幹部、本学会会長及び理事長に限定し開催した。

まず、根本幸典農林水産副大臣から受賞者に対して挨拶をいただいた。その後三賞受賞者を代表して各部門の天皇杯受賞者から受賞のお礼や今後の抱負等についてお話があり、その後、広瀬 建農林水産大臣政務官、山本啓介農林水産大臣政務官及び山下雄平農林水産副大臣から受賞者に対して挨拶をいただいた。最後に、鈴木憲和 農林水産大臣から受賞者に対して挨拶をいただいた。

(3) 天皇皇后両陛下への拝謁、業績説明及び皇居特別参観

天皇皇后両陛下への拝謁、業績説明

令和 8 年 1 月 29 日(木)、天皇杯受賞者が、皇居宮殿(北溜)において天皇皇后両陛下に拝謁し、受賞者の代表として農産・蚕糸部門 (株)おしの農場代表 押野和幸氏から天皇杯受賞に対するお礼言上を行い、その後、受賞者それぞれが業績について天皇皇后両陛下へのご説明を行った。

なお、部門毎に受賞者及び同伴者と伊藤房雄 中央審査委員会会長、堺田輝也 農林水産省大臣官房技術総括審議官、望月文書課長、島津技術政策情報分析官、小栗常務理事の 5 名が同伴した。

また、拝謁に先立って宮内庁担当官の案内により、皇居特別参観が行われ、バスと徒歩で宮殿、中庭、二重橋、生物学御研究所(水田)、紅葉山御養蚕所等を参観した。

(4) 優秀農林水産業者に係るシンポジウム

天皇杯受賞者等の優れた技術・経営及び優良なむらづくりの事例の業績を発表し、その業績を普及するため、シンポジウム(トップリーダー発表会)を開催している。

本年度は、天皇杯受賞者の優れた農林水産業の経営・技術の取組の紹介として、

次のとおり実施した。

- ① 令和7年6月5日(木)、東京都中央区紙パルプ会館フェニックスホールにおいて、令和6年度林産部門で天皇杯を受賞した株式会社T-FORESTRYの業績を取り上げて、【森林サービス産業の推進による都市近郊での新たな林業経営】をテーマに約110名(内web参加者40名)の参加者の下開催し、田中浩農林水産祭中央審査委員会林産分科会主査((公財)国際緑化推進センター 技術顧問)の選賞審査報告の後、株式会社T-FORESTRY代表 辻村百樹氏による業績発表を行った。また、田中浩氏をコーディネーターとして、業績発表者並びにコメンテーターとして、葛城奈海農林水産祭中央審査委員会林産分科会委員(ジャーナリスト)、平野悠一郎(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所多摩森林科学園主任研究員、豊永洋子神奈川県西地域県政総合センター森林部森林保全課副技幹、鈴木毅人株式会社T-FORESTRY総括マネージャーによる意見交換、参加者との質疑応答を行った。
 - ② 令和8年2月6日(金)、宮城県仙台市において、令和7年度むらづくり部門で天皇杯を受賞した入谷の里山活性化協議会の業績を取り上げて、【海と山の絆で苦難を超えて 次世代にしなやかにつなぐ】をテーマに約200名(内web参加者80名)の参加者の下開催し、市田知子 農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会主査(明治大学農学部専任教授)による選賞審査報告の後、阿部忠義 入谷の里山活性化協議会事務局長 による業績発表を行った。
また、市田知子氏をコーディネーターとして、業績発表者並びにコメンテーターとして、小谷あゆみ 農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会委員(農ジャーナリスト)、長田恵理子東北農政局宮城県拠点地方参事官、山内明美宮城教育大学教育学部准教授による意見交換、参加者との質疑応答を行った。
 - ③ 令和8年3月11日(水)、山形県山形市において、令和7年度農産・蚕糸部門で天皇杯を受賞した株式会社おしの農場の業績を取り上げて、【スマート農業技術とともに切り拓く地域の持続可能な農業】をテーマに約140名(内web参加者70名)の参加者の下開催し、中谷誠 農林水産祭中央審査委員会農産・蚕糸分科会主査(農業・食品産業技術総合研究機構副理事長)による選賞審査報告の後、押野和幸株式会社おしの農場代表取締役による業績発表を行った。
また、中谷誠氏をコーディネーターとして、業績発表者並びにコメンテーターとして、宮武恭一 農林水産祭中央審査委員会経営分科会主査(農業・食品産業技術総合研究機構農業経営戦略部長)、中尾克代 農林水産祭中央審査委員会経営分科会専門委員((株)DX経営研究所代表取締役)、矢野真二山形県農林水産部県産米戦略推進課課長補佐による意見交換、参加者との質疑応答を行った。
- (5) 優秀農林水産業者の業績等の普及啓発・広報宣伝
農林水産祭の趣旨及び農林水産業に係る優良事例の普及啓発を図るため、次のとおり幅広く普及啓発に努めた。
- ① 出版物による普及啓発

優秀農林水産業者の業績の普及を図るため、三賞受賞者の業績に係る出版物「農林水産祭受賞者の業績(技術と経営)」(500部)、「栄えの受賞に輝く」(1,100部)、「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」(750部)を作成し、関係者に配布した。

なお、毎年発行している農林水産祭事業を写真等で紹介する「農林水産祭(クローズアップ)」(10,000部)については、3月中旬にシンポジウムの行事が行われたことから、7年度末に作成し、新年度に配布することにした。

② ホームページによる広報・宣伝

農林水産祭及び三賞受賞者の業績及びシンポジウムの概要等について、農林水産省及び本会ホームページ等で広報・宣伝を行った。

2 啓発事業

令和7年度実りのフェスティバルは、農林水産業と食に対する国民の理解と認識を深めるとともに農林水産物の消費拡大等に資するため、10月31日(金)・11月1日(土)の2日間、東京都豊島区の池袋サンシャインシティにおいて開催した。

なお、2日間の来場者数は、約2.5万人であった。

(1) 皇室のご来臨

10月31日(金)、開場に先立ち、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご来臨を賜り、根本幸典 農林水産副大臣等のご案内により、天皇杯コーナー、政府特別展示コーナー(注1)、都道府県地域農林水産展コーナー(注2)、農林水産関係団体コーナー(注3)をご視察頂いた。

(注1) 政府特別展示コーナー : 農産局・園芸作物課
水産庁・計画・海業政策課

(注2) 都道府県地域農林水産展コーナー : 埼玉県、富山県、岐阜県、徳島県、
山形県、長野県、岡山県、高知県、
佐賀県、宮崎県
計10県

(注3) 農林水産関係団体コーナー : 公益社団法人畜産技術協会、
一般社団法人全国農業協同組合中央会
(JAひろば)

(2) 三賞受賞者の紹介展示及び政府特別展示コーナー等

① 「三賞受賞者コーナー」では、天皇杯受賞者の業績概要と、内閣総理大臣賞受賞者及び日本農林漁業振興会会長賞受賞者を、写真パネルで紹介した。

② 政府特別展示コーナーでは、
・ 環境にやさしい農業ってなに？クイズに挑戦してみよう！
・ JASってなんだろう

- ・ 統計に見る農林漁業の姿と統計データの活用
- ・ F A M I C って何？～畑から食卓までの科学～
- ・ 知っている？植物検疫～日本の農業のために～
- ・ 動物検疫所の紹介
- ・ お米の魅力に迫る！
- ～食べて！見て！知って！ 米・米粉をおいしく食べよう～
- ・ まもなく開催 500 日前！GREEN×EXPOS 2027 がやってくる～
- ・ 有機農業・有機食品ってなんだろう？ ～環境にやさしい農業について知るだろう～
- ・ 日本の食卓 改良と技術で守ります
- ～小さなタネから大きなウシまで～
- ・ 田んぼの水はどこからやってくる？
- ～360° 動画を用いた農業水利施設見学体験～
- ・ つなぐ棚田遺産
- ～日本の棚田と農山村の働き～
- ・ 鳥獣による農作物被害??
- ～知ってほしいジビエの世界
- ・ 日本の農業はすごい！
- ～農業遺産を応援しよう！～
- ・ 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」
- ～地域の活性化や所得向上に取り組んでいる農山漁村の優良事例～
- ・ 気候変動に対応するための研究開発
- ・ 木づかい運動でウッド・チェンジ！
- ・ 完全養殖ウナギと養殖マダコの現状は？
- ・ 毎月3日から7日は 「さかなの日」 さかなをもっと食べよう！
- ・ 海業（U M I G Y O）

等のテーマを掲げ、政府が行っている施策等をパネル、パンフレット、模型、映像等により分かり易く紹介した。

(3) 都道府県の出展コーナー

① 地域農林水産展コーナー

26 道県参加の下、全国各地の「郷土特産農林水産物」の展示、販売、試飲・試食等を行った。

② 都道府県技術・経営普及展示コーナー

9 道県が参加し、道県で開発した独自の新技术や特徴ある農林水産物について、実物、パネル、パンフレット等により展示・紹介した。

(4) 農林水産関係団体コーナー

13 の農林水産関係団体の参加を得て、団体の業務に関する展示、実演、即売等を行った。

① J A ひろば

「国消国産」を大枠のテーマとし、パネル&クイズ、並びにお茶の飲み比べ

などを通じて農業を身近に感じていただく体験コーナー・展示を行った。

② 参加・体験型コーナー

家族ぐるみで参加し楽しめるイベントとして、公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会による「ポニーの体験乗馬」を行った。また、農畜産物の一つとしてジャンボうさぎ(秋田県美郷町)を展示し、ふれあい体験を行った。

③ その他

各農林水産関係団体では、来場者が参加できる体験コーナー、クイズ、試飲・試食が楽しめるコーナー、各種展示等を行った。

(5) その他

御当地キャラ、キャンペーンガール等とのふれあい及び撮影会を行った。

(6) 広報・宣伝

実りのフェスティバルについて、本会ホームページへの掲載のほか実りのフェスティバル会場周辺のＪＲ駅等、都営さくらトラム（都営荒川線）車両内つり広告でポスターを掲示し周知に努めた。

また、都道府県、出展団体、関係省庁等、首都圏における農産物直売所・道の駅、都内アンテナショップ等にポスター、チラシを配布し広報・宣伝に努めた。

(7) 関連行事

農林水産祭を祝い、実りの喜びを分かち合うとの趣旨から、福祉施設への農林水産物の贈呈を、６道県及び２団体の協力を得て実施した。提供された農林水産物は、実りのフェスティバル終了後、東京善意銀行を通じて、都内の福祉施設へ贈呈された。

なお、令和７年１１月１日社会福祉法人東京都社会福祉協議会会長から本会に対し感謝状が贈られた。

Ⅱ 会 議

事業の円滑な推進を図るため、次の諸会議を開催した。

1 農林水産祭実行委員会

農林水産祭実行委員会(会長：農林水産省大臣官房長)を次のとおり開催した。

開催日 令和７年５月１９日（月）

場 所 書面による

議 題 ア 農林水産祭全体計画(案)について

イ 農林水産祭実施スケジュール(案)について 等

2 農林水産祭担当者会議

農林水産祭担当者会議として、次のとおり開催した。

(1) 第1回都道府県担当者会議

開催日 令和7年6月10日(火)
場 所 農林水産省三番町共用会議所
議 題 ア 農林水産祭全体計画について
イ 顕彰普及関係行事等について
ウ 啓発関係行事について
エ 農林水産祭参加表彰行事に係る手続き等について 等

(2) 実りのフェスティバル出展団体担当者会議

開催日 令和7年9月8日(月)
場 所 サンシャインシティ会議室
議 題 ア 農林水産祭全体計画について
イ 実りのフェスティバルについて
・会場配置等について
・実りのフェスティバル出展に係る注意事項について 等

(3) 第2回都道府県担当者会議

開催日 令和7年9月8日(月)
場 所 サンシャインシティ会議室
議 題 ア 顕彰普及関係行事について
・天皇杯等三賞の決定の公表について
・農林水産祭式典等について
・優秀農林水産業者に係るシンポジウム実施計画(案)
イ 実りのフェスティバルについて
・会場の配置等について
・皇室視察スケジュール等について

3 評議員会

評議員会は、次のとおり開催した。

定時評議員会

開催日 令和7年6月26日(木)
場 所 新橋航空会館ビル9階 901会議室
議 題 ア 令和6年度事業報告及び決算(案)について
イ 評議員の任期満了に伴う改選(案)について
ウ 理事及び監事の任期満了に伴う改選(案)について
エ その他

4 理事会

理事会は、次のとおり3回開催した。

(1) 第1回

開催日 令和7年5月28日(水) (書面決議)
議 題 ア 令和6年度事業報告及び決算(案)について
イ 令和7年度定時評議員会の開催(案)について

- ウ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
- エ 令和6年度における資産運用状況報告について
- オ その他

(2) 第2回

- 開催日 令和7年6月26日(木) (書面決議)
- 議 題 ア 理事長、副理事長及び業務執行理事の選定について
- イ 理事長の職務代理及び職務代行の順所について

(2) 第3回

- 開催日 令和8年3月24日(火)
- 場 所 大手町JAビル3階 303会議室
- 議 題 ア 令和8年度事業計画及び収支予算(案)について
- イ 資金調達及び設備投資の見込み(案)について
- ウ 特定費用準備資金等取扱規程の一部改正(案)について
- エ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
- オ その他

Ⅲ 法人の運営体制の充実を図るための取組

内閣府「公益法人の自主的・自律的ガバナンス強化のための調査報告書」や他法人の取組事例を参考にするなど、今後取組みを進めていくこととします。

第2 事業報告の付属明細書

該当なし